

# ひがしが 議会だより

No.57  
2024.4.15

発行編集：日之影町議会報編集委員会

「山のチカラ」を取り戻せ！

矢筈の展望所から

進目算算・P2

総括質疑・P6～P7

一般質問・P9～P11

# 議員賛否の結果

# 注目予算

	高館	甲斐(徳)	河野	一水	甲斐(健)	小川	小谷	久保
		無記名投票により賛成多数で可決						
	—	○	○	○	○	○	○	○
	—	○	○	○	○	○	○	○
	—	○	○	○	○	○	○	○
○	—	○	○	○	○	○	○	○
	—	○	○	○	○	○	○	○
	—	○	○	○	○	○	○	○
	—	○	○	○	○	○	○	○
○	—	○	○	○	○	○	○	○
	—	○	○	○	○	○	○	○
	—	○	○	○	○	○	○	○
	—	○	○	○	○	○	○	○
	—	○	○	○	○	○	○	○
	—	○	○	○	○	○	○	○

1、森林環境譲与税  
**66,000千円**  
 (前年度予算49,624千円)



【林業担い手住宅】

2、児童福祉施設費  
**134,147千円**  
 (前年度予算124,664千円)



【将来を担う子ども達】

3、水源の里対策費  
**24,458千円**  
 (前年度予算19,467千円)



【里山の風景】

# 第1回定例会 注目議案

議案番号	件名	概要	
同意第1号	教育長の任命について	現、教育長 橋本範憲氏を再任	
同意第2号	特に重要な公の施設の廃止について (日之影町国民健康保険病院)	西臼杵郡内の3公立病院の経営統合に伴い、日之影町国民健康保険病院の建物を西臼杵広域行政事務組合に譲渡するため、公の施設から廃止するもの。	
諮問第1号、2号	人権擁護委員の推薦について	森重喜博氏、馬崎ナルミ氏の両氏が選任される。	
議案第2号	日之影町犯罪被害者等支援条例の制定	町民が安心して暮らせる地域社会の実現に寄与することを目的とし、犯罪被害者等の支援の基本となる事項を定めるもの。	
議案第6号	西臼杵地域公立病院統合に伴う関係条例の整理に関する条例	西臼杵郡内の3公立病院の経営統合に伴い、日之影町国民健康保険病院に関する関係条例の整備を行うもの。	☾
議案第8号	第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	令和6年度より会計年度任用職員に勤勉手当を支給し、新たに勤勉手当の規定を追加するもの。	
議案第10号	日之影町課設置条例の一部を改正する条例	農林振興課の事務「林道及び治山に関すること」を建設課に移管することに伴い、条例の一部を改正するもの。	
議案第13号	日之影町機能別消防団設置に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	「日之影町消防支援団」を「日之影町機能別消防団」として再編し、関係条例の整理に関する条例を制定するもの。	
議案第15号～18号	日之影町公の施設に係る指定管理者の指定について	令和6年4月1日から令和11年3月31日までの指定管理者がそれぞれ選任 観光施設：日之影町村おこし総合産業株式会社 日之影町活性化センター：日之影町商工会 日之影町高齢者生活福祉センター：社会福祉法人 日之影町社会福祉協議会 日之影町地域福祉センター：社会福祉法人 日之影町社会福祉協議会	☾
議案第19号	普通財産の譲渡について（宮水工場）	宮崎部品跡宮水工場の土地及び建物を高千穂地区農業協同組合日之影支所営農センター施設として、高千穂地区農業協同組合に譲渡するもの。	
議案第20号	定住自立圏形成協定の一部変更について	延岡市と締結している定住自立圏形成協定の一部を変更し、現在の取り組み内容に合わせて協定内容を変更するもの。	
議案第21号	令和6年度日之影町一般会計予算	令和6年度日之影町一般会計予算の総額を、歳入歳出それぞれ57億6,700万円で、主に災害復旧費等の減により、前年対比14.1%。	
議案第23号	令和6年度日之影町奨学資金事業特別会計予算	定期貸付者は継続し、新規貸付者25名(高校生7名、大学生18名)、入学一時金貸付者9名(高校生3名、大学生6名)予定。	
議案第28号	令和5年度日之影町一般会計補正予算(第9号)	災害復旧に要する経費、公共施設等整備基金積立金、ふるさと応援寄附金に係るふるさと特産品返礼事業及びふるさと応援基金、病院事業会計繰入金等、各事業における不用額の整理が主なもの。	

# 予算審査特別委員会の主な質疑

Q

町民が暮らしやすく、役場職員が働きやすい本町のDXはどう進めるのか

広報においてはスマートフォンアプリの導入を行う予定をしている。窓口手続きによる「書かない窓口」やコンビニ交付も検討していく。令和3年から職員間の連絡にチャットツールを導入し情報の共有化を図っている。

A

Q

コロナワクチンが新年度から自己負担になるが国・県に先立って本町の対応は

現在行っているインフルエンザの助成なども参考にし、接種金額の決定をみながら検討していく。

A

Q

本年度からの増員もある事から水源の里支援隊の活動範囲を見直してみても

条例等一定のルールを踏まえたうえで実施個所については検討していく。

A

Q

設立から7年が経ち人材確保も含めたアグリファームの体制強化の対策は

受託件数増により人員、設備の強化を行っている。令和4年度から補助額を1,500万円に増額している。スマート農業による効率化や自社生産額を上げることで過大に成らないように対応していく。更なる人員確保については、協力隊の社員登用、ワーキングホリデー、無料求人アプリなどで対応していく。

A

Q

中央体育館を使用するにあたり耐久性は問題ないか

現行の使用であれば問題が無いと思えるが、今後の利活用を踏まえて耐震診断も視野に入れている。

A

Q

山を守る取り組みについては「山の力」が重要であると思うが

今後の水資源の確保もあり重要だと思っている。宮崎県再造林推進条例が6月に上程されることもあり、これを踏まえて針葉樹のみならず広葉樹の新植も含めて推進していく。

A

Q

児童生徒や教職員等の安全安心の観点から、不審者対策を含め、4校に防犯カメラの設置も必要ではないか

安心安全のためには必要だと思われる。今後議会や学校、保護者の皆様と協議しながら検討していく。

A

Q

更なる観光客の呼び込みのために青雲橋、波瀬大橋を活用した観光振興の取り組みは

以前橋脚にアクリル板を使用した遊歩道の提案などを行って来たが、安全性の担保などを含めてなかなか実現は難しいところであるが、状況や時代の変化も踏まえて県との再度の協議を行う。

A

# 予算審査特別委員会委員長 報告

委員長 一 水 輝 明

令和6年度一般会計予算は前年対比14.1%減の57億6700万円で編成され、投資効果等も勘案しながら効率良く配分されているが、地方交付税や国県支出金等の依存財源比率は84%と高く、歳出においては、大規模事業に伴う起債発行により実質公債費比率や将来負担比率の上昇が見込まれており、依然、厳しい状況にある。

そのような中、保育料及び副食費の完全無償化や地球温暖化対策実行計画の方針に基づくゼロカーボンのまちづくり、機能別消防団の設置、令和5年度に策定したDX推進計画に基づくデジタル社会の構築等、新規事業を含めた施策には一定の評価をするものである。また、本年度より特別会計の簡易水道及び農業集落排水事業においては、公営企業会計へ移行するため会計処理を注視する必要がある。さらに町立病院は西臼杵公立病院に統合され新しくスタートするなど、将来を見据えた持続可能な地域医療の構築が望まれる。

基幹産業である農林業振興については、担い手不足解消に向け、アグリファームを拠点とするサポート体制の構築を図りながら新規就農者の創出のためにも関係機関との情報収集・発信を行い多様な人材の呼び込みも必要である。また、森林環境譲与税の有効活用と用途の検証を含め森林整備、循環型林業の構築、水源地の保全に向け林業の活性化に努めることが肝要である。また、山を守る取り組みとして、広葉樹・針葉樹等の新植を推進し「山のちから」をつける施策を一考すべきである。

商工・観光の振興については、旧庁舎跡地整備事業の実施により中央地区のみならず町全体の活性化に繋がることから工事進捗を注視し賑わい創出拠点施設の構築に努め、世界農業遺産・ユネスコエコパークと森林セラピーとの融合を推進していくことが重要である。

教育行政の振興については、地域と共に開かれた学校づくりを目指すと共に学力の向上や教職員の更なるスキル向上を図り、学校・家庭・地域が一体となって学校運営と環境づくりの充実を推進すると共に教育現場の安心安全の観点から防犯カメラ等の設置が必要である。また、郷土芸能の継承、保存の取り組みにつきましては、自治公民館連絡協議会と連携し意識の醸成を共有することが望ましい。

本町が抱える課題は、人口減少に伴う人材の確保をはじめ、交通手段や買い物支援の構築、医療福祉の強化等山積している。町民の多様な意見を受け止め、行政・議会が連携して情報共有を図り、社会福祉の向上と安心・安全なまちづくりの構築に努め、将来を担う子供たちがいつでも帰ってこられる持続可能な里づくりの振興が肝要である。

## 議会基本条例の一部改正

議会基本条例は、議会の果たすべき役割及び責任を明確にするとともに、町民に開かれた議会をさらに充実させるため、規定について検討を加え、必要に応じて基本条例の改正を行うものことから、今回、災害等の場合における議会のあり方について、日之影町議会災害対策会議の設置の条文を加えるものであります。

このことにより、日之影町議会活動を活性化し、議会での議論を充実させるとともに、より町民に開かれた議会とするため、情報公開と町民参加の推進に努め、併せて、議会改革と自己研鑽を継続し、公平公正な議会運営を徹底することにより、町民の信頼と負託に的確にこたえる議会であり続けることを目指します。

# 総括質疑 総務文教常任委員会

## 1. 行財政運営について

【問】

当初予算からみえる依存財源比率の高止まり、将来負担比率の上昇の中での財政運営は

【町長】

歳入に見合った歳出を考えていく。新たな取組として保育料の完全無償化等があるが、実質公債比率は13.8%の見込みである。今後住宅建設整備等々の事業による変動も注視しながら健全な財政運営に努めていく。

## 2. 未来を開く次世代育成について

【問】

小学生から青年層までの人財育成と、次世代に向けた本町のビジョンは

【町長】

保育料の無償化、中学生までの医療費無償化等、子育て世帯の支援の充実を計る。町づくりの理念としては、自然と生きる町、人と生きる町、住民が誇れる町を基本

理念として進めていく。

【問】

学校を核とした地域活動の充実と心身共に調和の取れた児童・生徒の育成の取組は

【教育長】

今からは学力だけではだめだと思つ。日之影に愛着を持てる、貢献できる人材を求めていく。小学5・6年生を対象にした日之影キヤリアサポート推進事業（職場体験）を考えている。

## 3. 社会教育・生涯学習の振興について

【問】

人口減少、高齢化により組織活動の低下が見られる中、自治公民館活性化、伝統芸能の継承、保存への取組は

【教育長】

公民館運営補助金強化事業は引き上げて支援してきたが今後も継続して行く。

町伝統芸能継承強化事業として、

子ども達を主とした神楽鑑賞・体験を実施し、各学校に希望をつのり興味を持つ子ども達を増やしていきたい。

【問】

## 4. スポーツの振興について

【問】

令和9年度に計画されている「第81回国民スポーツ大会」の開催に向けた取組は

【教育長】

昨年9月に準備委員会をスタートさせ開催地の視察を行ったところである。

6年度は実行委員会に移行して準備を進めていく。宿泊施設等の課題解決も含め、本町でもなぎなた競技を盛り上げていきたい。

【問】

## 5. 地方創生の推進について

【問】

地方創生を進める上で実施した高校生以上の町民、4年生以上の児童・生徒に対するアンケートの結果反映は

【町長】

第6次日之影町長期総合計画作成に当たり実施した小・中学生については、日之影が好きが98%と答えている。

日之影愛の醸成に繋がる結果と捉え、いつまでも住み続けたい町を作り上げていきたい。



【なぎなた体験教室】

# 総括質疑 経済建設常任委員会

## 1. 林業の振興について

【問】

循環型林業の構築、林業の活性化について具体的な取り組みは

【町長】

伐採後の造林、育林をどうやって行くのが課題である。本町においては8割を超える補助率を有しているが更に持続的なものにするためには増額交付される森林環境譲与税を活用し、コンテナ苗の増産や担い手対策を推進していく。

## 2. 有害鳥獣対策について

【問】

地域と連携し住民一体となった有害鳥獣対策とは

【町長】

新年度の捕獲員は2名追加の7名体制。

また「ほかパト」の増設、罌の直接配布を行う。捕獲班の状況は令和5年で84名。平均年齢は67.5歳である。一体となった対策として新年度に西臼杵特命チームに

よる集落点検など被害対策を実施する。

## 3. 観光振興について

【問】

森林セラピーは観光、健康ともに本町の活用すべき資源である。認定から18年を迎えて新たな展開の構想は

【町長】

森林の持つ癒しの機能が様々な効果を持つことも認知されてきた。また、宮崎ワーケーション推進協議会に参加し、森林の保養を生かした取り組みも行っている。この様な取り組みを通し認知度の向上と関係人口の増加に励んでいく。



【森林セラピーツアー】

## 4. 住み続けたい安心便利なまちづくりについて

【問1】

近年の大規模な災害に対しての本町の備えは

【町長】

関係団体及び企業等との緊急時の支援協定を結び、近隣市町村との広域での自治体相互応援体制を構築している。また孤立の可能性がある鹿川、見立地区においては、衛星携帯電話の設置も検討している。

【問2】

公共交通の実証実験が行われているが今後の見直しは

【町長】

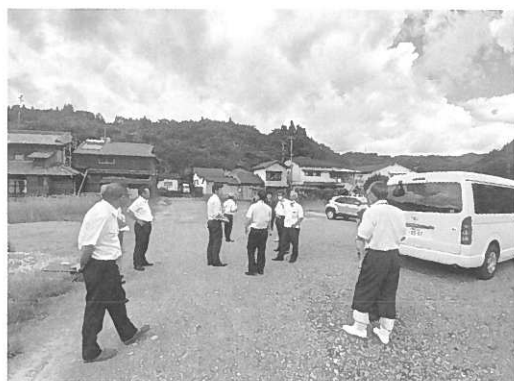
スマイルバスの運行の見直しを中心に実験を行っている。利用者のアンケート調査やサロンでの意見交換も参考にしデータを蓄積しながら9月まで実験を行い効率的な運用、利便性の向上を図って10月からの本格運行に備える。

【問3】

若者や単身者子育て世帯向けの住宅や高齢者が安心して暮らすことのできる住宅の検討や、個人住宅の支援は

【町長】

八戸工場跡の測量設計を実施。子育て世帯、高齢者、若者向けなどのような形で進めていくのか検討中である。また、従来行ってきた支援を来年度に町内在住者と移住者向けにそれぞれ見直し新たに支援を行っていく。



【八戸住宅建設予定地】

## 所管事務調査 総務文教常任委員会

期 日：令和6年2月13日(火)  
場 所：委員会室

調査事項：公立病院統合再編に伴

う日之影町立病院の現

状・体制について

昨年度より高千穂町立病院と連携し、療養患者の受け入れも実施され順調に推移している。公立病院統合により日之影町立病院は療養型病床が10床設けられるが、地域包括と療養型で診療点数の違いがあることから、経営的には厳しい状況にある。

また、夜勤等を含めた看護師の負担も大きく、人材不足が否めない状況であり、今後は3町協力体制を整える必要があると思われる。

町病院事業は、普通交付税、特別交付税の措置はあるものの、一般会計の負担が増えることにより他の事業に影響が出ないか注視する必要がある。また、監査業務が広域での監査に移行された時、統合再編の一つ



【病院関係からの聞き取り調査】

の柱でもある財政効果の検証、安定的な病院経営の継続においても、共有が重要と思われるため、専門的な外部監査を設置するなど早急な検討が必要である。

「町民の中には統合に対する不安な声もあることから、今後必要に応じて町民への説明が肝要である。」

## 所管事務調査 経済建設常任委員会

期 日：令和6年2月9日(金)  
場 所：道の駅青雲橋会議室

調査事項：村おこし総合産業株式

会社の経営について

現在、指定管理者として「道の駅青雲橋」、「日之影温泉駅」を含め9ヶ所55名体制で運営を実施。人件費等は約8,700万円であり本町にとっては大きな雇用の場となっている。

○道の駅青雲橋

レストランのオーダーや支払の電子化等、最先端のIT導入が必要ではないか。さらに、加工品の充実、野菜類の生産者拡大を図り、品数を増やすことや、来客数が増えたことにより駐車場の拡張が必要である。また、コンテナハウスは営業が不定期であることから、移動するなどの協議が必要である。

○日之影温泉駅

4月から入湯料の値上げを予定していることから、温泉まつり等を復活させて中央地区の賑わいに資する取組が必要である。燃料費に関して

は、薪ボイラーをさらに利用して、燃料費節約等の企業努力が必要である。レジオネラ菌対策としては、引き続き安全衛生に留意をすること。

「全体的には人手不足の解消のため、労務費の見直し、清掃員については、夜間の仕事であり、時間単価の見直しが必要と思われる。また、不採算施設についても今後協議をして行く必要があると同時に、適時に外部監査を入れ、経営的な所見を聞くことも必要である。」



【関係機関との意見交換】

# 一般質問

## 小中学生の通学経路の点検及び安全確保は

教育長 各学校が通学路を点検し危険箇所については関係機関による現地での合同点検を実施している。



小谷 幸治  
議員

問 通学靴の重さと携行品の負担軽減の対応は

教育長 国語、算数など家庭学習で使用

する物については、基本持ち帰るが、使用頻度の少ない教科書、各資料集やファイル等は、学校に置かせるなどの措置を講じている、近年GIGAスクール構想によるタブレット等の家庭学習での利用や、今後、次期学習指導要領の改訂に伴い、学習内容や教科書の記載内容、量も変わる可能性があるものの、国の動向や児童生徒の実態を注視しながら各学校に対し適切に指導していく。

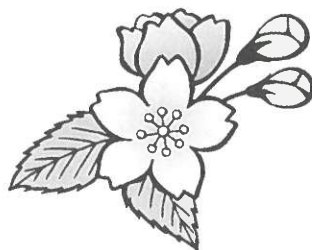
問 今年度実施された、通学路の合同点検及び対策必要箇所等の取り組みは



【見守られながら登校する児童】

教育長

現地での合同点検を実施し、リストアップされた危険箇所について、箇所毎に具体的な対策を検討しており、ガードパイプ、歩道の設置、グリーンベルトや横断歩道、路面標識、更には、支障木の撤去や草刈りなど安全対策を講じている。さらに、地域の皆様の協力を得るため、通学路安全対策プログラムの内容や、点検の結果などを各学校と連携し、ホームページ等により適切に情報発信をしていく。



更により良い議会だより  
町づくりのため  
皆様の声をお聞かせください！

例えば

- 「こんな企画、特集があったらいいな」
  - 「ここを変えたらもっと読みやすくなる」
  - 「議会のここが分からない」
  - 「そもそも議員の仕事が分からない」
- とにかくテーマは何でも構いません。  
匿名でも実名でもペンネームでもOKです。

提出はハガキ、ご意見箱、メール (gikai@town.hinokage.lg.jp) でお受けいたします。  
なお、頂いたご意見は個人情報保護の上議会でのみ使用します。

◇あなたの年齢は？（○をつけてください）

10代・20代～30代・40代～50代・60代以上

◇「議会だより」に対するご意見ご感想

-----  
-----  
-----  
-----

◇町や議会に対するご意見

-----  
-----  
-----  
-----  
-----

ありがとうございました

移住、人材不足、企業誘致は

町長 課題を把握し、問題解決に取り組む



久保 優一 議員

問 本町において移住対策はなぜ必要なのか

町長 移住された方との交流を通して、町民が気づきを得ることや地域の主体性を引き出し、継続的な地域づくりに期待していることから大変重要である。

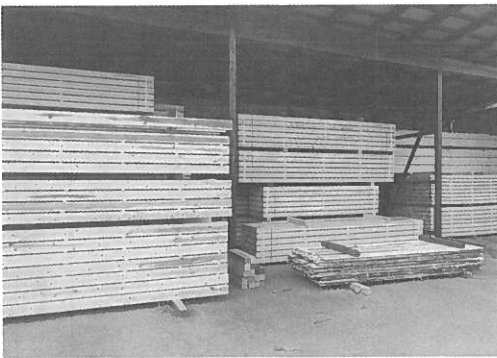
問 町内事業者（行政を含む）の人材不足はどの程度把握し、それに対してどのような手立てを行っているか

町長 町内の主な事業体に聞き取りを行ったところ、農林業で14社に対し35名。建設業で12社に対し41名。介護福祉6施設において7名の不足がある。今後はウェブを活用しての移住や求人情報等の情報提供を検討しているところであり、より多くのマッチングを実現させたい。

町長

問 本町において企業の求めに答えられる資源とは何か

町長 豊かな自然、産業、伝統文化など都会にはない魅力的な資源が多くある。これらを生かして企業誘致につなげることが出来るのではないかと考えている。また人材確保が出来なければ誘致は難しく町内においても人手不足は深刻である。引き続き町内の自然を生かし、町の発展に寄与できるような企業の誘致が出来るよう努めていく。



【豊富な木材資源】

たくさんのご意見  
(ハガキ)  
ありがとうございます。

議会への苦言や提言、励ましのお言葉、全議員で共有し大変参考になっております。

日之影町役場、道の駅「青雲橋」2箇所にご意見箱を設置しました。



表紙写真大募集！

日之影町議会では、更に次号から町内の皆さまに表紙の写真を募集したいと思います。

町内での出来事や風景等、何でもかまいません。ふるってご応募ください。

郵便はがき

8 8 2 0 4 0 1

恐れ入りますが、63円分の切手をお貼りいただくか議会事務局までご提出ください。

日之影町大字七折9079

日之影町議会事務局 行

氏名(掲載しません)

ペンネームなど

鉱山等の歴史的遺産の活用は

町長 時代に則した活用のあり方を検討する



高館 英嗣  
議員

問 本町には見立鉱山という歴史的に見ても価値のある産業遺産があるがこれまでの取り組みは

町長 全盛期の鉱山従業員世帯は340戸、人口1,232名、従業員は465名を数え、本町経済の発展に大きな貢献があったと考えられ、リフレッシュハウス出羽、クラブハウス英国館等を整備し観光振興を図ってきた。

問 みやざき岡田心平演劇賞(※)を受賞されるほどの演劇も作られ、産業遺産としての魅力を発信すべきだと考えられるが町長の考えは

町長 ※(岡田心平演劇賞とは2011年に逝去した劇団ゼロQの前代表岡田心平氏の名を冠とした演劇賞。)

町長 英国館も平成13年に国の登録有形文化財に登録されており、観光資源として重要なエリアと捉えています。

るので関係機関と協議をしながら活用の在り方を検討していく。

問 近代化産業遺産の公募は終了しているが産業遺産としての登録に関しては取り組める余地もあるが見解は

町長 産業遺産としての認定にあたり方法や基準、必要な手続き及び費用負担等を研究していく。

問 観光資源を活かすにもビジョンが必要であるが見解は

町長 町内に点在する観光資源を活用するには高速道路網をはじめ道路インフラの整備も重要になってくるので、総合的な判断のもと取り組みを進めていく。



【今はなき選鉱インクライン】

公立病院の広域医療等に関する特別委員会中間報告 委員長 小川輝久

令和元年12月に設置した本委員会は、本年3月迄に13回の委員会を開催しました。

委員会では、西臼杵地域公立病院統合再編準備室から3町公立病院の現状分析や将来予測の調査報告、監査法人トーマツとの意見交換等を通して、町の医療形態の課題、町民の統合再編に係る意見集約、統合後の財政負担等の協議を重ねて来ました。そして、本年4月1日に経営統合するにあたり、本特別委員会の設置目的が概ね果たされたところであります。

一方、令和9年度迄の中期経営計画(案)が提示されましたが、今後の3町病院の役割や機能が計画的に進むことは流動的なことも予想され、3町公立病院の統合後、事業経過を検証し提言することも必要になることも考慮し、継続審査とする結論に至りました。



熊本県多良木町視察研修

2月1日(木)

先の12月定例会において議員報酬について議論が交わされ、今後の日之影町議会運営の指針の一つとして、2月1日木曜日に先進地の一つである熊本県多良木町議会において政務活動費について研修を行ってきました。

政務活動については、事務局主導ではなく、議員自ら段取りを行っておりその主体性を発揮していた。意見交換の中で照らし合わせてみると、本町議会は国への要望や定例会ごとの所管事務調査など研修、研鑽の機会は今現在充実しており、今後の方針においては現行の調査要望をより一層充実していく事が肝要かと思われ、政務活動費については継続的に審査するにとどめておく運びとなった。



(1月16日～4月15日)

- 1月16日 正副議長県庁あいさつ回り(17日まで)
- 19日 議会運営委員会・全員協議会
- 24日 中央地区活性化協議会
- 26日 議会運営委員会・全員協議会
- 31日 全議員研修会(三股町)
- 2月 1日 視察研修(熊本県多良木町)
- 2日 第1回臨時会
- 4日 日之影町民のつどい
- 5日 日之影字目線要望活動
- 9日 全員協議会  
経済建設常任委員会所管事務調査
- 13日 総務文教常任委員会所管事務調査  
九州中央道建設促進沿線議会期成会意見交換会
- 15日 郡議長会要望活動(16日まで)
- 19日 九州中央道整備促進西臼杵議会特別委員会要望活動
- 20日 町村議会議長会定例会
- 22日 議会運営委員会・全員協議会
- 26日 高千穂高校魅力向上推進委員会
- 28日 高千穂高校剣道部表敬訪問
- 29日 第1回定例会(初日)  
全員協議会
- 3月 1日 令和5年度新規採用者に係る辞令交付式  
高千穂高校卒業式
- 2日 五ヶ瀬中等教育学校卒業式
- 4日 愛宕地藏尊祈願大祭
- 5日 第1回定例会(一般質問)  
議会運営委員会・全員協議会
- 7日 第1回定例会(総括質疑)  
公立病院の広域医療等に関する特別委員会
- 11日 予算審査特別委員会
- 13日 予算審査特別委員会  
日之影町認定農業者研修会
- 15日 予算審査特別委員会  
議会運営委員会・全員協議会
- 16日 日之影中学校卒業式
- 18日 高齢者大学及び高齢者教室卒業式
- 19日 第1回定例会(最終日)
- 21日 ひのかげ溪谷まつり実行委員会  
防犯ブザー贈呈式  
出産祝い金贈呈式
- 25日 町内小学校卒業式
- 26日 日之影町ゼロカーボンシティ宣言に係る記者発表会
- 28日 九州自動車道建設促進大会(延岡市)
- 4月 1日 教育長の辞令交付式  
小・中学校管理職着任式  
人事異動辞令交付式
- 7日 消防団新入団員辞令交付式
- 11日 日之影中学校入学式
- 12日 町内小学校入学式
- 15日 事務連絡員会



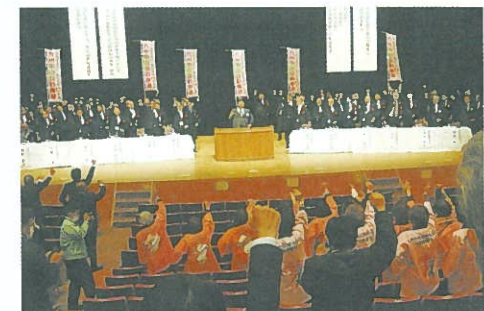
【郡議長会要望活動(2月15日)】  
九州地方整備局



【郡議長会要望活動(2月16日)】  
九州農政局



【高千穂高校剣道部表敬訪問(2月28日)】



【九州自動車道建設促進大会(3月28日)】

## 編集後記

少し肌寒かった初春も過ぎ、季節は進み山々には新緑が芽吹くころ、町内の皆様においては季節の変わり目を迎え、いかがお過ごしでしょうか。

今定例会では施政方針に始まり本年度の予算と多数の議案が審議されました。新年度は町民の皆様の暮らしをより改善するような予算と条例制定があり、今後のより一層の社会福祉向上に寄与することを実感しております。また、私見ですが改選から二度目の本会議においては、議会と行政の親和性が増し、前年よりもさらに議論を深めることが出来たのかと思います。

本定例会の結果を踏まえて議会報告会を開催しますので皆様ご参加ください。

### 発行責任者

議長 高館 英嗣  
議会報編集委員

委員長 久保 優一  
副委員長 一水 輝明  
委員 甲斐 徳仁  
委員 高館 英嗣